

令和元年度上半期活動報告

中津川地区集落支援員 細渕 里久子



活動の中から・・・すばらしき中津川



中津川移住者との交流会開催 “中津川で暮らすこと”

中津川で採れる粘土でいろんなもの作ったよ！



またやりたい！という声もあがりました。

畳の上で座卓を丸く囲みワイワイ、もぐもぐ



令和元年7月7日、中津川森と暮らしの学校（元中津川小学校小屋分校）にて、移住者の皆さん、NPO「美しいやまがた森林活動支援センター」、むらづくり協議会定住委員、地域おこし協力隊、Uターン者などが一堂に会し交流会を行いました。子供を含め総勢21名が、持ち寄った料理を囲み、楽しい七夕のひとつときを過ごしました。

ほとんどの人が中津川の自然と地域の人の暮らしぶりに触れ、豊かな自然の中で暮らすことの良さを語ってくれました。その中でNPOさんからは「中津川には財産がたくさんある。見方一つで宝石となる。皆さんにはそれを発見するきっかけとなってほしい」、定住委員さんからは「地元の人と移住者の間の行き違いやわだかまりをなくすためにもこのような機会に意見を出し合い、共有しあってほしい」とありました。移住者からは「地域の魅力を生業にできた」「20kmの道を降りていなくてもここだけで間に合う生活を考えていきたい」「自分の仕事はここを天国のようなどころにすること」などの話が出ました。私は“中津川で暮らすこと”はそれぞれのスタイルで、中津川のすばらしさを伝え、地域の人たちの知恵を学び考えて暮らしていくことと思いました。

NPOさんの協力を経て、小屋分校を使わせていただきました。これからも学校の風通しも兼ねていろいろチャレンジしていきたいと思います。